

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立高部屋小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことは、概ねできている。 ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問として適切なものを選択することは、概ねできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、台形について理解している。 ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができている。 ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見出すことが、概ねできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。 ・示された除法の式の意味を理解すること。 ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日同じくらいの時刻に起きている児童が多く、ほとんどの児童が朝食を食べている。 ・先生に自分の良いところを認められていると感じている児童が多い。 ・難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している児童が多い。 ・ほとんどの児童が、国語の勉強は大切だと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を全くしない児童や新聞を全く読まない児童がいること。 ・家庭での学習時間には、個人差があること。 ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていない児童がいること。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・付けたい力を明確にした授業づくりと学習評価の一体化を一層図っていくこと。 ・児童自身が、自分の力が伸びていることに気付くことができるよう、中学3年間を含めた9年間を見通した指導を行う。 <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を書くなど、書く活動を取り入れるなど、「書く」力を伸ばす指導の充実を図る。 ・優れた文章表現に慣れ親しむ機会を意図的継続的に作り、表現力を伸ばす必要がある。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正答に至るまでの過程を大切に、考えの筋道を説明する力を伸ばすことが必要である。(解き方を書く、説明する活動など) ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を繰り返すなどして、資質・能力の土台形成を行うことが必要である。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童は素直で明るい子が多く、比較的落ち着いた学校生活をおくることができている。しかしながら、「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思う児童が全員でないこと、学校が楽しいと思っている児童が全員でないことなどは、重く受け止めています。 ・学習面では、家庭での学習時間に個人差があることから、どの子も10分×6(年)として1時間は、学習に取り組むことを目標に、ご家庭でもご協力くださるようお願いいたします。 ・「どうしてその答えになるのか」「自分の意見の根拠は何か」などを書く習慣を身に付けることが大切です。 ・「衣・食・住」が足りて、温かい家庭環境が児童のがんばる意欲を育みます。学級に居場所があることで安心して学校生活を送ることができます。保護者の皆様と学校が連携し、児童の資質・能力を育むことができるよう、引き続きそれぞれの役割を果たしていくことができれば幸いです。
